

平成30年度事業報告

I 理事会

開催期日	場 所	議 決 事 項 等
30. 4. 1	長野市	理事会（書面表決） ・専務理事の選任について
30. 4. 12	長野市	理事会（書面表決） ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について（評議員の選任）
30. 6. 13	長野市	理事会 ・平成29年度事業報告の承認について ・平成29年度収支決算の承認について ・平成30年度収支補正予算（案）について ・理事の取引の承認案件について ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について ・平成30年3月以降の職務執行状況について（報告事項）
30. 6. 28	長野市	理事会（書面表決） ・理事長、専務理事の選定及び副理事長、顧問の選任について
30. 8. 20	長野市	理事会（書面表決） ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について（評議員の選任） ・平成30年度収支補正予算（案）について
30. 11. 7	長野市	理事会 ・「新たな事業企画・実施化基本方針」の廃止及び公益目的保有財産の一部取り崩しの承認について ・平成30年度収支補正予算（案）について ・平成30年6月から10月までの職務執行状況について（報告事項）
30. 12. 17	長野市	理事会（書面表決） ・平成30年度収支補正予算（案）について
31. 3. 18	長野市	理事会 ・平成31年度事業計画（案）について ・平成31年度収支予算（案）について ・平成31年度資金調達及び設備投資の見込み（案）について ・平成30年11月以降の職務執行状況について（報告事項）

II 評議員会

開催期日	場 所	議 決 事 項 等
30. 4. 1	長野市	評議員会（書面表決） ・理事の選任について ・規則の一部改正について
30. 4. 24	長野市	評議員会（書面表決） ・評議員の選任について
30. 6. 28	長野市	定時評議員会 ・平成29年度事業報告について（報告事項） ・平成29年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について ・役員の選任について
30. 9. 3	長野市	評議員会（書面表決） ・評議員の選任について

本 部 事 業

I 産学官交流事業

1 産学官金連携支援事業

長野県の経済発展を目指して国から選定された拠点計画と地域戦略の円滑な推進を確保するため、関係機関相互の情報共有及び連携強化を図った。なお、長野県産学官連携協議会は、当面する協議案件がなかったことから今年度は開催を見送った。

また、長野県ものづくり産業振興戦略プラン及びイノベーション推進事業の円滑な推進を図るため、長野県イノベーション推進本部会議を開催した。

<イノベーション推進本部会議>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 4. 13 ～ 31. 3. 12 11回	長野市	・各セクションにおける事業の進捗状況と課題について ・予算の執行状況について ・県の重点施策について ・平成31年度事業、予算編成について ・テクノ財団事務局会議、理事会、評議員会等について ・その他	延 95

2 コーディネータ資質向上事業

財団内外のコーディネータ活動に携わる職員の資質向上を図るため、国や県などから講師を招へいし、外部資金の獲得等に向けた研修会を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 11. 8	長野市	戦略的基盤技術高度化支援事業における事務処理のポイント 経済産業省 関東経済産業局 産業部 製造産業課 高木 由美 氏、 泉 智絵 氏	38
31. 2. 7	長野市	①「経済産業省の施策について」 ～中小企業・地域経済産業施策を中心に～ 関東経済産業局地域経済部地域振興課係長 坂本 清久 氏 ②「JSTの提案公募型研究開発事業について」 (国研)科学技術振興機構 産学連携展開部 マッチングプランナー・産学連携フェロー 二階堂 知己 氏 マッチングプランナー 青柳 重夫 氏 ③「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム プロジェクト概要」 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 教授 事業プロデューサー 林 俊弘 氏 ④「長野県の施策について」 長野県産業労働部ものづくり振興課 主任 三島 誠司 氏	36

3 先進的クラスター連携強化事業

本県とは異なる技術分野での産学官連携技術開発において、優れた成果を上げている先進的クラスターの技術蓄積の中から、本県産業の新分野進出に活用できる新規技術シーズを探索した。

調査日	調査対象機関	調査内容
31. 1. 17	航空機戦略的複合工場（新潟市） 【アルミ部品、装備品部品の製造】	新潟市航空機産業クラスター Niigata Sky Comoponent Association の中核的生産拠点である航空機戦略的複合工場（3社入居）の工場視察
	JASPA(株) [非破壊検査工程] YSEC(株) [大物部品加工] (株)山ノ内製作所 [営業機能]	工場内視察

II 新産業創出支援事業

今後成長が期待される新産業分野（「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」）への県内企業の積極的な参入を促進するため、当該分野における産業イノベーションにつながりうる研究開発プロジェクトへの重点的な支援や関連産業・技術の動向調査、市場ニーズと技術シーズのマッチング、各種研究会の開催等の事業を実施した。

1 健康医療分野への展開事業

(1) メディカル産業支援・ネットワーク構築事業

医療現場のニーズや医療機器販売等に関する豊富な知見を有する医療機器製販企業の集積地での展示交流会や、同展示会の事前勉強会を開催することで製販企業と県内ものづくり企業との連携を促進し、メディカル関連機器分野における県内企業の研究開発成果である製品や技術等のブランド化を図った。

<メディカル機器分野の展示会活用セミナー>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 5. 14	岡谷市	<<基調講演>> 「展示会から受注を上げる！ノウハウ／事例公開セミナー新規開拓を加速する会期中～会期後のしかけ」 (株)イノベーションセールスクラウドユニット 遠藤 伸二 氏 <<メディカル機器分野の展示会と取組及び提案営業・交渉力・プレゼン能力向上セミナーのご紹介>> ①MEDTECのご紹介 (公財)長野県中小企業振興センター マーケティング支援センター 保科 博人 氏 ②メディカルクリエーションふくしまのご紹介 (一財)ふくしま医療機器産業推進機構 松本 和巳 氏 ③メディカルメッセのご紹介 名古屋商工会議所 産業振興部 モノづくり・イノベーションユニット 小林 昂太 氏 ④信州メディカル産業振興会が募集する国内外展示会のご紹介 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 櫻井 和徳 氏 ⑤本郷展示交流会のご紹介 (公財)長野県テクノ財団 メディカル産業支援室 宮下 仁 ⑥提案営業・交渉力・プレゼン能力向上セミナーのご紹介 (公財)長野県中小企業振興センター マーケティング支援センター 山岸 良至 氏	47

<長野県ものづくり企業と医療機器メーカーとの展示交流会 in 本郷（6）>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 9. 6	東京都 文京区	長野県の共催で、医科器械会館にて長野県ものづくり企業と商工組合日本医療機器協会他の医療機器メーカーとの展示交流会・マッチング商談会を開催 出展企業数：19社	61

<Medtec Japan 2019>

開催期日	場 所	内 容	来場者
31. 3.18 ～20	東京都 江東区	医療機器製造・設計に関するアジア地域最大の展示会であるMedtec Japan 2019に長野県パビリオンブースを出展し、県内ものづくり企業と国内外多数の医療機器メーカーとのマッチングを支援 出展企業数：30社	全体 (25,407)

(2) 信州医療機器事業化促進・グローバル展開事業

長野県における現状の医療機器産業支援体制やこれまでの支援の実績、産学が持つポテンシャル、国内市場の状況等を踏まえ、県内企業等の本格的な国内医療機器産業への参入促進及び新規医療機器の開発・事業化を支援する「信州医療機器事業化開発センター」の立ち上げに向けた支援人材の発掘、支援方針の検討・決定及び業界動向に関するセミナーを開催した。

<信州医療機器事業化開発センター>

目 的	長野県が策定した「長野県医療機器産業振興ビジョン」に基づき、県内企業による医療機器の開発・事業化を促進	
設 置 形 態	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県が本テクノ財団に委託して設置 ・本テクノ財団は国立大学法人信州大学と連携して体制を構築 ・医療機器業界や薬機法等に精通した支援メンバーを揃える 	
体制	本 部	<ul style="list-style-type: none"> ・名誉センター長（非常勤） 池野 文昭 氏（スタンフォード大学） ・センター長（財団事務局長兼務） ・次長（県派遣職員） ・コーディネータ【東北信地域担当】（本部） ・コーディネータ【中南信地域担当】（信州大学オフィス駐在）
	信州大学 オフィス	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学オフィス長 杉原 伸宏 氏 （学術研究・産学官連携推進機構学術研究支援本部長兼務） ・コーディネータ【医工連携】 ・コーディネータ【資金獲得・VB支援】 ・アドバイザー（非常勤）【薬事戦略】池田 浩治 氏 （東北大学、元（独）医薬品医療機器総合機構（PMDA）） ・アドバイザー（非常勤）【薬事戦略】鈴木 由香 氏 （東北大学、元（独）医薬品医療機器総合機構（PMDA）） ・アドバイザー（非常勤）【保険収載戦略】田中 俊博 氏 （医薬品・医療機器・体外診断薬コンサルタント、元厚生労働省）
活 動 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・医療機関・大学等からの開発ニーズ・シーズ探索 ・医療機器開発なんでも相談 ・開発を目指す医療機器の市場性の検証・アドバイス ・薬事承認や保険収載戦略へのアドバイス ・医療機器の試作・試験等への補助 ・研究開発資金獲得支援、医療系VB支援 ・法規制等の専門的セミナー ・製販企業とのビジネスマッチング 	

<医療機器開発・事業化促進セミナー第1弾>

開催期日	場 所	内 容	参加者
31. 1. 21	長野市	医療機器開発について日頃抱えているような問題や課題解決の方法等を企業と一緒に考え、設置に向けた機運を醸成	48

<医療機器開発・事業化促進セミナー第2弾>

開催期日	場 所	内 容	参加者
31. 2. 26	長野市	医療機器開発について日頃抱えているような問題や課題解決の方法等を企業と一緒に考え、設置に向けた機運を醸成	26

<キックオフシンポジウム>

開催期日	場 所	内 容	参加者
31. 3. 15	長野市	本センターの体制や事業活動などを対外的に紹介するとともに、新たな医療機器の創成に向け、押さえるべき重要なポイントなどを現役医師や元 PMDA 審査官の各立場からご示唆	61

(3) 有用微生物応用事業

長野県は伝統的な発酵食品の宝庫であることから、豊かな地域資源を活用し、新たな産業を創出するために立ち上げた「微生物産業利用研究会」では、助言を頂いている長崎大学大学院仲山研究室との相互交流を継続し、研究成果に関する情報交換を行った。

また、微生物利用の新たな展開を目指して立ち上げた「新しい日本酒造り研究会」では、PP165（乳酸菌）を利用した日本酒製造試験を実施し、有用微生物活用方法の評価・検討を行った。

<微生物産業利用研究会>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 11. 27	長崎市	第1回 ①「醸造業（醤油）における現状と課題について」 マルキ醤油(株) 代表取締役社長 民野 泰之 氏 ②「醸造業（味噌）における現状と課題について」 （有）穀平味噌醸造場 代表取締役 小山 洋史 氏 ③「機能性酵素及び機能性アミノ酸を生産する発酵微生物の特性解析について」 長崎大学大学院 教授 仲山 英樹 氏 ④仲山研究室の見学	25
31. 1. 21	長野市	第2回 ①「高窒素含有の発酵食品残差の再資源化に資する好塩菌を用いた、高機能性アミノ酸及び酵素の生産」 長崎大学大学院 教授 仲山 英樹 氏 ②次年度研究テーマ「バイオリソース」について	12

<新しい日本酒造り研究会>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 9. 14	中野市	第1回 ①「PP165（乳酸菌）を利用した日本酒製造試験の結果報告」 長野県工業技術総合センター 食品技術部門 研究員 豊田 敦至 氏 ②PP165 利用新日本酒の官能評価試験	21

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 11. 29	長野市	第2回 PP165（乳酸菌）利用日本酒の実証試験について 志賀泉酒造(株)、丸世酒造店(株)、長野県工業技術総合センター 食品技術部門、(公財)長野県テクノ財団	5

(4) 光触媒技術応用事業（東京理科大学連携強化事業）

東京理科大学の光触媒技術を活用し、未利用バイオマスであるキノコ廃培地から創られる高純度希少糖生産法の研究開発が「平成30年度戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」に採択された。初年度は、製造工程におけるベンチスケール設備の構築を行うとともに、食品としての実用化に向けて重要となる安全性試験を実施した。

制度名	テーマ名 [研究機関]	所管省庁等
戦略的基盤技術 高度化支援事業	キノコ廃培地からの高純度希少糖生産法の研究開発 [信光工業(株)、アクティブ(株)、東京理科大学]	関東経済 産 業 局

(5) 発酵食品・機能性食品産業集積事業

老舗中小メーカーの醸造蔵は、固有で、未知の有用微生物の遺伝的宝庫であり、貴重な地域遺伝資源である。このため、長野地域振興局委託事業の「平成30年度地域遺伝資源活用新商品開発等推進業務」を受託し、醸造蔵のモロミから醸成過程のサンプルと最終製品のサンプルを採取し、微生物を遺伝子レベルまで調べる「DNA鑑定」を実施し、遺伝子情報としての微生物ライブラリーの構築を行った。また、機能性や抗菌性に優れた株菌の探索を行った。

(共同研究機関：信州大学)

醸造蔵数	サンプル数	DNA鑑定	特性分析
7か所	16検体	次世代シーケンス解析	菌叢解析

2 環境・エネルギー分野への展開事業

(1) SD (Smart Device) プロジェクト

県内企業が製造する製品へ組み込む専用の半導体チップ「マイチップ」を開発するため、信州大学の専門家との共同研究をコーディネートし、その開発・設計を支援した。

また、5G時代に求められる次世代の実装技術の動向を捉え、新たな半導体デバイスの開発につなげるため、関係団体との共催により「長野実装フォーラム」を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
31. 1. 25	長野市	長野実装フォーラム ①「実装技術の現状と課題 ～5G到来を前にして求められる実装技術～」 NEP Tech. S&S 代表 西田 秀行 氏 ②「Automotive, ADAS の現状と課題」 e-SYNC(株) 代表取締役 村松 菊男 氏 ③「iPhone XS に観るアンテナ・RF技術と5Gスマホへの推察」 セミコンサルト 代表 上田 弘孝 氏 ④「医療デバイス向けパッケージと実装技術」 オリンパス(株) 技術開発部門 医療要素開発本部 マイクロ実装技術部長 鈴島 浩 氏	60

(2) 信州MEMS研究会

MEMS技術に関する広範な情報を提供し、新たなMEMSデバイスの開発や用途開発を行う県内企業の取組を支援するため、「信州MEMS研究会」を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 6. 21	長野市	第1回 信州MEMS研究会 ①「機械システムとしてのMEMS ～人工知能IC搭載ミリメートルロボット・ミリワットクラス電磁誘導式発電機～」 日本大学 理工学研究所長 教授 内木場 文男 氏 ②「大容量グラフェン スーパーキャパシター」 (国研) 物質・材料研究機構 (NIMS) エネルギー・環境材料研究拠点 先進低次元ナノ材料グループリーダー 唐 捷 氏	35
30. 11. 6	長野市	第2回 信州MEMS研究会 ①「Printing in the Third Dimension; Design, Materials, Equipment & Applications in Electronics」 TechLead Corporation チャールズ E. バウアー 氏 ②「スマート-テキスタイルの社会実装に向けた取組」 信州大学 名誉教授、繊維学部 特任教授 平井 利博 氏	17

(3) SiCパワーエレクトロニクス研究会

これからの技術、ビジネスに大きな可能性を秘めている SiC パワーデバイス・モジュールの県内産業への技術適用の拡大及び社会実装を促進するため、「次世代パワーエレクトロニクス研究会」を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 7. 11	長野市	第1回 次世代パワーエレクトロニクス研究会 ①「SiC (シリコンカーバイド) パワーデバイスの研究開発と実用化」 京都大学 名誉教授 松波 弘之 氏 ②「京都地域スーパークラスタープログラムの活動成果と今後の展望」 (公財) 京都高度技術研究所 理事長 西本 清一 氏	109
30. 10. 5	京都市	第2回 次世代パワーエレクトロニクス研究会 ※ 京都市産業技術研究所と共同開催 ①「ポリマー材料の耐熱化の指針」 信州大学 繊維学部 教授 村上 泰 氏 ②「メタルコンポジット鉄心材料の開発」 信州大学 工学部 教授 佐藤 敏郎 氏 ③「低温溶射法によるパワーデバイス用金属セラミック基板の試作」 長野県工業技術総合センター 材料技術部門 金属材料部長 小坂橋 竜雄 氏	90
31. 3. 6	長野市	第3回 次世代パワーエレクトロニクス研究会 ①「メタルコンポジット鉄心材料の開発」 信州大学 工学部 教授 佐藤 敏郎 氏 ②「メタルコンポジット鉄心を用いたDC-DCコンバータ」 信州大学 工学部 教授 水野 勉 氏 ③「パワー半導体の最新技術・応用と将来展望」 大阪大学大学院 招聘教授 (元 ローム(株)研究開発部長) 中村 孝 氏	88

(4) 次世代パワーエレクトロニクス事業化促進事業

平成 29 年度に J S T の支援事業が終了したスーパークラスタープログラムへの参画企業等のフォローアップを行い、研究開発成果を利用して事業化を目指す製品の技術開発を推進すべくコーディネート活動を実施した。

(5) 先端クラスター連携交流事業

福岡大学半導体実装研究所／三次元半導体研究センターとのネットワーク強化と実装技術を中心とする最新技術動向を把握するため、フジコ(Fukuoka Univ. Jisso Consortium) ミーティングへ参加し技術交流を実施した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 8. 23	京都府 木津川市	第2回 フジコミーティング (タツタ電線株) ①「タツタ電線の電子材料紹介」 タツタ電線株 技術開発センター 寺田 恒彦 氏 「高速伝送基板向け平滑銅表面密着向上技術」 メック株 研究開発本部 吉海 雅史 氏 ② 福岡大学半導体実装研究所 研究開発状況報告 ③ 三次元半導体研究センター 内部開発状況報告	30
30. 12. 3	福岡県 福岡市	第3回 フジコミーティング (福岡大学) ①「これからの車載システムについて」 アイシン精機株 九州開発センター センター長 音川 昌也 氏 ②「集積化CMOS-MEMS技術とその応用」 東京工業大学 未来産業研究所 特任教授 町田 克之 氏 ③「高感度薄膜ホール素子の開発と非接触センサとしての応用展開」 (公財) 野口研究所 学術顧問 柴崎 一郎 氏 ④「部品内蔵基板技術による次世代自動車技術創造と大変革のITS高度道路交通システム」 三次元半導体研究センター エグゼクティブディレクター 小林 英次 氏 ⑤「Device Embedded Moduleと三次元半導体研究センターの紹介」 三次元半導体研究センター 研究員 林 繁宏 氏	150

3 次世代交通分野への展開事業

(1) 航空宇宙産業集積促進事業

航空宇宙産業分野への参入を目指す県内企業の支援ニーズに応じて、参入に必要な関連業界・技術情報の収集、参入に資する研究開発・成果の早期事業化などへの支援事業を実施した。

航空宇宙産業集積の取組みにおいて南信州・飯田地域が抱える技術的課題を、長野県工業技術総合センターや他地域の企業や信州大学等を巻き込んで、飯田地域と連携して解決することを通じて、航空宇宙産業集積を県内全域に波及させるべく、以下の取組を実施した。

① 研究開発プロジェクトの企画運営支援

<飯田航空宇宙プロジェクト>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 4. 5	飯田市	飯田航空宇宙プロジェクト第 86 回会議	(1)
30. 4. 9	飯田市	飯田航空宇宙プロジェクト事務局と打合せ	(2)
30. 10. 10	飯田市	飯田航空宇宙プロジェクト第 87 回会議	(1)

<航空機産業中核企業育成事業>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 5. 29	飯田市	航空機産業中核企業育成事業キックオフ講演会	(1)
30. 6. 5	諏訪市	航空機産業拡大キックオフフォーラム分科会	(1)
30. 7. 24 ～ 11. 16	飯田市 岡谷市 諏訪市	航空機産業中核企業育成事業 グループ研究会 (5回)	(延5)
30. 12. 13	各務原市	航空機産業中核企業育成事業 航空機関連先進企業視察 ・訪問先：岩戸工業(株) 参加者：8社、22名	(1)
31. 2. 26	長野市	航空機産業中核企業育成事業 加工トライアル報告会	(1)

<航空機システム研究会>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 7. 3	大田区	航空機システム研究会	(1)
30. 8. 28	諏訪市	航空機システム研究会 分科会	(1)
30. 10. 19	諏訪市	航空機システム研究会 フォーラム	(1)
30. 11. 14	諏訪市	航空機システム研究会 フォーラム	(1)
30. 12. 18	諏訪市	航空機システム研究会 分科会	(1)
31. 2. 28	諏訪市	航空機システム研究会 フォーラム	(1)

<その他>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 6. 15	名古屋市	(一社)中部航空宇宙産業技術センター総会	(2)
30. 7. 13	名古屋市	航空機エンジン部品加工トライアル説明会	(1)
30. 7. 26	諏訪市	NPO 諏訪圏ものづくり推進機構 打合せ	(5)
30. 8. 31	各務原市	航空宇宙分野における切削加工技術の最新動向	(1)
31. 3. 12	神戸市	関西航空機産業プラットフォーム 平成30年度運営会議	(1)

② 展示会出展支援

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 11. 28 ～30	東京都 江東区	国際航空宇宙展2018東京 概要 航空宇宙産業における国際的なビジネス展示商談会 会場 東京ビッグサイト <出展支援企業> エアロスペース飯田 (飯田市) (株) 都築製作所 (坂城町) (有) 原製作所 (上田市) <成果> 商談件数 4社4件	—

③ 品質保証規格の取得支援

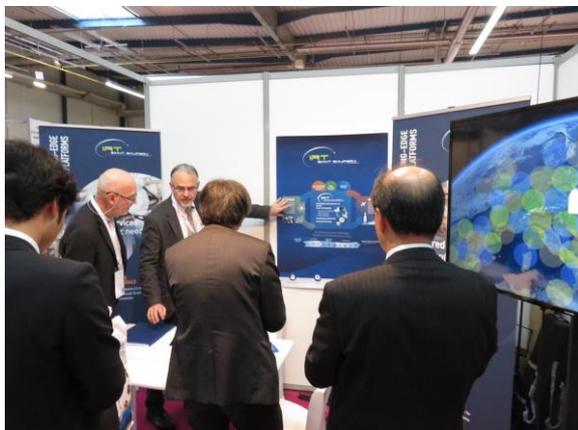
開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 8. 1	伊那市	JISQ9100:2016 規格解説および認証取得ガイダンスセミナー 日本検査キューエイ㈱ (JICQA) 執行役員 審査本部 審査第5部長 鈴木 登志夫 氏	9 社 13
31. 1.17 ~18	飯田市	JISQ9100 内部監査員養成研修 日本検査キューエイ㈱ (JICQA) 執行役員 審査本部 審査第5部長 鈴木 登志夫 氏	10 社 19

(2) 国内外の航空機関連展示会出展事業

海外で開催される国際的な航空機産業関連展示会・商談会であるエアロマート トゥールーズ 2018 (フランス) へ出展する長野県企業のブースを確保し、県内企業の技術力を大手航空機メーカーへPRした。また、県内航空機関連企業に対し、国内外の展示会への出展を促すべく、報告会を開催した。

<国際展示会出展支援>

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 12. 4 ~6	フランス	エアロマートトゥールーズ2018 概要 航空宇宙産業における国際的なビジネス展示商談会 会場 パルク デ エクスポ ジシオン トゥールーズ <出展支援企業> ㈱羽生田鉄工所 (長野市) 加賀ワークス㈱ (飯田市) <成果> ・商談件数 18社18件	—



<報告会>

開催期日	場 所	内 容	参加者
31. 3.11	諏訪市	航空機産業における中核企業育成のための技術動向セミナー <<講演>> 「航空機産業～サプライチェーンとの新たな取り組み」 ㈱島津製作所航空機器事業部シニアマネージャー 戸村 武史 氏 <<報告>> 「フランス航空ミッションについて」 長野県産業労働部ものづくり振興課主任 齋藤 通義 氏 「国内外展示商談会の出展参加報告」 (公財) 長野県テクノ財団 木下 和久	38

Ⅲ 共同研究等推進事業

1 研究開発費獲得支援事業

国や県等の研究開発制度の活用・普及を図るため、各種制度のプレゼンテーションを行った。

開催期日	場 所	内 容	参加者
31. 3. 7	諏訪市	研究開発等支援制度説明会 ≪支援制度の説明≫ ① 「長野県の支援施策について」 長野県産業労働部ものづくり振興課 主査 清水 北斗 氏 ② 「公益財団法人長野県中小企業振興センターの支援施策について」 (公財)長野県中小企業振興センター 経営支援部 技師 細井 祐介 氏 ③ 「経済産業省の支援施策について」 ・経済産業省の施策について 関東経済産業局地域経済部地域振興課 係長 坂本 清久 氏 ・戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の概要 関東経済産業局産業部製造産業課 課長補佐 矢吹 心太 氏 ④ 「国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の支援施策について」 ・産学連携展開部地域イノベーショングループ マッチングプランナー(広域関東圏) 産学連携フェロー 二階堂 知己 氏 マッチングプランナー 青柳 重夫 氏 ⑤ 「国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の支援施策について」 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部 専門調査員 中村 均 氏 ≪個別相談会≫	72

2 財団コーディネート活動支援事業

大学等の技術シーズを活用する新技術・新製品の事業化や提案公募に必要な基礎的データの取得のための産学官連携による研究開発を支援した。

研究会名	研究開発テーマ	提案者	委託金額
情報センシングに基づいた人的災害の防災・減災技術研究会	監視カメラ映像に基づいた異常検出方法に関する基礎的研究	(株)ジェイ・ファクトリー	500,000 円
木質断熱材開発コンソーシアム	未利用地域木材を理化学処理した高性能木質断熱材開発	(株)テオリアランバーテック	900,000 円

3 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

採択された研究開発プロジェクトに対し、研究活動の推進、進捗管理を行った。

制度名	テーマ名 [研究機関]	所管省庁等
戦略的基盤技術高度化支援事業	キノコ廃培地からの高純度希少糖生産法の研究開発 [信光工業(株)、アクティブ(株)、東京理科大学]	関東経済産業局

(注) 研究活動の概要は、Ⅱの1(4)に掲載

IV 国際展開支援事業

1 国際ネットワーク構築・技術交流事業

平成27年度に当財団とMOUを締結したベトナム国家大学ホーチミン校の集積回路設計研究教育センター（ICDREC）から信州大学へ研究者を受け入れて技術交流を深めるための条件調整等を行ったが、ベトナム側の都合により実施見合わせとなった。これについては、次年度以降の実現に向けて情報交換を継続している。

2 Wiintech 等との国際連携ネットワーク構築支援事業

当財団が平成25年度にMOUを締結したWiintechの参画機関であり、ポルトガルのエンジニアリング&ツーリングクラスター運営の中核を担う機関Pool-net（Portuguese Tooling&Plastics Networking）と、射出成形・金型技術開発をテーマにした技術交流を深め、新たなビジネス展開に繋げるための交流事業を実施した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 10. 1 ～ 4	ポルトガル共和国	県内企業を帯同し、ポルトガルで開催された「MOULDS EVENT Portugal 2018」への参加、金型・プラスチック関連の現地企業や研究所を視察 ① 訪問先 ポルトガル共和国（マリーニャ・グランデ市、オリヴェイラ・デ・アゼメイス市） ② 内容 ・Pool-net幹部とのミーティング、MOUに基づく今後の活動方針の確認 ・MOULDS EVENT Portugal 2018への参加 同イベントでの県内企業による技術プレゼンテーション テーマ：「生分解性プラスチックと環境」 発表者：日精樹脂工業(株) 代表取締役社長 依田 穂積 氏 ・現地企業（7社）、研究施設を視察訪問し、技術動向の把握、情報交換 ③ 参加企業（日精樹脂工業(株) 2名、(株)ホクト精工 1名）	6
31. 2. 2	岡谷市	欧米のプラスチック金型産業セミナー 《講 演》 「金型産業のグローバル化の中での欧州金型メーカーの進化」 (株)牧野フライス製作所 マーケティング部 スペシャリスト 山本 英彦 氏 《視察報告》 「ポルトガルの金型／プラスチック加工関連企業の視察報告」 (公財)長野県テクノ財団 ナノテク・国際連携センター 伊藤 正智	17

3 国際ネットワーク構築・技術動向調査事業

(1) イギリス・ドイツ経済視察

長野県経営者協会が主催する「イギリス・ドイツ経済視察団」に参加した。イギリスのEU離脱に伴うヨーロッパの政治的・経済的動向や世界経済への影響など、その現状および展望を把握するため、また伝統的なものづくり産業が集積するドイツでは、近年特に日本企業の進出や技術提携等への期待が高まっているため、県内の経営者に同行して経済・投資環境や技術・市場動向を調査した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 9. 8 ～16	イギリス ド イ ツ	【調査事項】 ・イギリスの政治・経済動向、日系企業の英国ビジネスの課題 ・ドイツの産業・経済の現状、新たな産業分野への転換・創出、銀行のM&A ・ドイツの自動車産業（特にEV）の現状、将来像、課題 ・長野計器(株)現地法人の視察 ・ドイツザクセン州経済公社の役割、共同開発の進め方	1 (17)

(2) 海外のフードバレー等との連携に関する事前調査

長野県食品製造業振興ビジョンに基づき、グローバルな規模での産学官連携による食のニーズ探索等を進めるため、県内の食品関連企業、県内外の大学、関係機関等を訪問し、海外との連携方策等について情報収集・調査を実施した。

V 人材育成事業

1 グローバル展開実践カレッジ

海外におけるプレゼンテーションを想定した技術者等の英語コミュニケーション力を向上するため、実践的な講座を開催した。

(1) E S P (English for Specific Purposes) 講座

講師：清泉女学院大学 教授 グレゴリー・バーチ 氏

清泉女学院大学 非常勤講師 スー・フレイザー 氏

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 5. 11	長野市	<第1回> 「英語による効果的なビジネスプレゼンテーションの作り方」 ・プレゼン概論、課題提示	延べ 70
30. 6. 8	長野市	<第2回> 「英語による効果的なプレゼンテーションの伝え方」 ・個別指導、フィードバック	
30. 6. 29	長野市	<第3回> 「英語によるプレゼンテーション実演」 ・発表者：9名 ・聴講者とのディスカッション、講評	

(2) グローバル技術人材養成講座

講師：信州大学 グローバル教育推進センター アマンダ・シュッツェ 氏

開催期日	場 所	内 容	参加者
30. 11. 30	長野市	「英語によるプレゼンテーション実践」 ・自己紹介&会社紹介、参加者同士インタビュー ・1分間で紹介する方法、プレゼンテーションに役立つ言葉	9

VI 広報等事業

1 学会等支援事業

学会、研究会等が実施する産学官連携事業が効果的に実施できるよう共催、後援等の支援を行った。

2 テクノニュース発行事業

当財団の理解と事業の周知のため、「テクノニュース」No. 39並びにNo. 40を発行した。

3 財団ホームページの充実、広報事業

当財団の理解と事業の周知のため、パンフレット「新産業創出への挑戦」を作成した。また、ホームページ(<http://www.tech.or.jp>)やダイレクトメールなどで財団事業のPRやイベント情報等を提供した。

4 研究開発成果等情報発信・普及拡大事業

当財団が進めるプロジェクトや研究開発の成果等を広く情報発信するため、様々な分野の技術情報がグローバルな規模で集まる展示会「nano tech 2019 (国際ナノテクノロジー総合展・技術会議)」に出展した。

開催期日	場 所	内 容	来場者
31. 1. 30 ～2. 1	東京都 江東区	出展内容 ①信州大学 佐藤・曽根原研究室 ・SiC/GaN パワーコンバータ用高周波電力用鉄系メタルコン ポジット磁心材料 ②信州大学 太子研究室 ・SiC 結晶育成・作製プロセスの研究開発 ③信州大学 水野・ト研究室 ・磁束経路制御技術を用いた電気機器の効率化 ④シチズンファインデバイス(株) ・時計生産で培った精密加工技術の応用展開 ⑤(株)スキノス ・日常生活の”発汗”を手軽に測定 SKINOS Perspiro (スキノス パースピロ) ⑥(株)ナンシン ・マイクロパイプを通じて部品の小型化に貢献 ⑦(株)カイジョー ・超音波微細洗浄、微細接合技術の応用	全体 (43, 622)

参加者計(延べ) 1, 299名